

標 題 : Olive oil phenols are dose-dependently absorbed in humans  
オリーブ油のフェノールはヒトに量依存性で吸収される

---

著 者 : F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬理学研究所)

---

掲 載 誌 : FEBS Letters 468: 159-160 (2000)

---

要 旨 :

オリーブ油のフェノール成分は、抗酸化作用に限定されない強力な生物学的作用に恵まれていると *in vitro* で示されてきた。

今まで、この化合物のヒトにおける吸収および体内動態に関する情報はない。

オリーブ油のフェノール、つまりチロソールおよびヒドロキシチロソールは、摂取後にヒトに量依存性で吸収され、それはグルクロニド抱合体として尿に排泄されると、我々は報告する。

さらに投与するフェノールの量を増加させると、グルクロニドとの抱合の比率が増加する。

キーワード : オリーブ油、フェノール、アテローム性動脈硬化、地中海食事、抗酸化物、ヒドロキシチロソール

---